

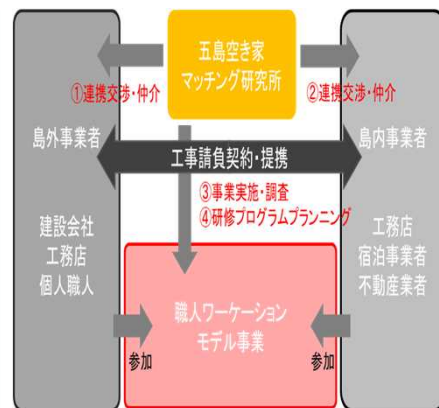
長崎県五島市で、島内の職人不足の解決策として、大工等の職人に特化したワーケーションの事業モデルの構築を検討し、島内外の事業者との連携体制づくりと、島外職人に対して行ったアンケート調査から職人向けの研修プログラム案の提案を行った。

■ 事業概要

事業部門	部門3)ポストコロナ時代を見据えて顕在化した新たなニーズに対応した総合的・特徴的な取組を行う事業
事業地域	長崎県五島市
背景・課題	今回の事業を通じて解決する課題は、島内の職人不足である。五島市において、2021年度の空き家バンク登録数は91件と過去最高を記録し、当該団体の活動も合わせて、空き家の掘り起こしや空き家の利活用の数は年々増加傾向にある。しかし、空き家の利活用の際に必要な改修工事が、島内の大工や左官をはじめとする職人不足により、工期が遅延することが多々あり、顧客への納期を明確にすることさえ困難な状況になっている。特に大工は、改修工事で主要な役割を果たし、DIYによる改修工事でさえサポーター役として不可欠な存在であるが、五島市のような離島部においては、台風等の自然災害も多く、災害復旧工事の対応に大工のほとんどが手間を取られており、さらに問題が深刻化している現状にある。
目的	この課題に対して本事業は、コロナ感染拡大前から主にIT関連のワーケーション事業を強く推進している五島市、長崎県と連携して、大工等の職人に特化したワーケーションの事業モデルを構築することで、次年度の本格的な事業化への足掛かりとすることを目的とする。さらに、次年度以降の発展事業を見据えて、もう一步踏み出し、ワーケーションによる職人の受け入れのみならず、五島市の改修工事現場を新たな職人育成や技術交流の場とした研修先として、独自の職人研修プログラムのプランニングを行う。
連携する団体・役割	五島市、長崎県、国立大学法人九州工業大学

■ 取組内容と成果

- ① 職人向けワーケーションの連携候補となる島外事業者へのアプローチ
- ② 職人向けワーケーションの受け入れに関する島内調整
- ③ 職人向けワーケーションモデル事業の実施
- ④ 職人研修プログラムのプランニング



- ① 連携先の島外事業者の掘り起こし（10社と交渉し5件の工事案件発生）
- ② 島内での滞在先や各協力会社等の情報集約し、島外事業者へ提供する体制づくり
- ③ 工事現場以外でも島内外事業者の交流が図れる場づくりの提供
- ④ 島外職人に対して、普段（島外）と島内（五島）双方の仕事及び生活環境に関する満足度のアンケート調査及び補足的なヒアリング調査の報告書作成
- ⑤ 職人研修プログラム案の提案

